

Symposium

ポストコロナの リベラルアーツ教育と 本学のサバイバル

学習院女子大学は、「学習院 VISION150」の一環として小規模な女子大学である本学が目指すべきリベラルアーツ教育について検討するシンポジウムを開催します。

本シンポジウムでは、混迷の度合いを深める現代社会におけるリベラルアーツのあり方について、同分野に造詣が深い文化人のみならず第一線で活躍する実務家や教育者を交えながら多面的に議論することにより、本学の生き残りをかけた新しいリベラルアーツ教育の構築を探究します。

2022 年 5 月 28 日 (土)

13:30 – 17:30 (予定)

学習院女子大学

2号館 201 教室 (やわらぎホール)

無料 / 事前申込要

来場型にて実施

※今後の新型コロナウイルス
感染症に係る状況の変化により
開催形式を変更する可能性あり



Panelists & Schedule

13:20 受付開始

13:30 開会の辞

開会挨拶 学習院女子大学長 大桃 敏行

13:40 Opening Remarks

15:10 パネリスト 日下部 裕美子
藤野 可織
近藤 隆則
西川 史子
平田 オリザ

15:10 Coffee Break

15:30 Panel Discussion

16:30 「リベラルアーツ教育と本学のサバイバル」

モデレータ:

学習院女子大学教授 金城 亜紀

16:30 ディスカッションを受けて

学習院女子大学副学長 内野 儀

16:50 フロアとの対話

17:20

17:20 閉会挨拶

学校法人学習院専務理事 平野 浩

17:30 閉会の辞

Access

東京メトロ副都心線「西早稲田」駅下車 徒歩 1 分

東京メトロ東西線「早稲田」駅下車 徒歩 10 分

JR 山手線・西武新豊線「高田馬場」駅下車 徒歩 15 分



藤野可織 Kaori Fujino

芥川賞作家



© 佐山順丸

小説家。2006 年『いやしい鳥』で第 103 回文壇新人賞受賞、2013 年に『爪と目』で第 149 回芥川龍之介賞、2014 年『おはなしして子ちゃん』で第 2 回フラウ文芸大賞を受賞。近作に『ファイナルガール』（角川文庫）、『ドレス』（河出文庫）、『ピエタとトランジ〈完全版〉』（講談社）、『来世の記憶』（KADOKAWA）など。2017 年、アイオワ大学のインターナショナル・ライティング・プログラムに参加。現在、京都精華大学、同志社女子大学で非常勤講師を務める。

平田オリザ Oriza Hirata

劇作家、演出家、芸術文化観光専門職大学学長



青年団主宰。こまばアゴラ劇場、江原河畔劇場芸術総監督。

1995 年『東京ノート』で第 39 回岸田國士戯曲賞受賞。2006 年モンブラン国際文化賞受賞。2011 年フランス文化通信省より芸術文化勲章シュヴァリエ受勲。2019 年『日本文学盛衰史』で第 22 回鶴屋南北戯曲賞受賞。著書『わかりあえないことから』『演劇入門』（講談社現代新書）など。

西川史子 Fumiko Nishikawa

山脇学園中学校高等学校 校長、本学外部評価委員



東京都目黒区生まれ。武蔵野音楽大学大学院音楽研究科修了。大学院在学中より山脇学園中学校高等学校で非常勤講師として勤め、1991 年、専任教諭として山脇学園中学校高等学校着任。同校にて、2010 年に入試広報室長、2019 年に教務部長といった役職を歴任し、2021 年より同校校長となり現在に至る。学習院女子大学外部評価委員も務める。

日下部裕美子 Yumiko Kusakabe

Impact Access 代表取締役社長

ゴールドマン・サックス証券投資銀行を経て、米州開発銀行に 15 年間勤務。YK Global Impact (米)、(株) Impact Access (日) を設立、多数の新規事業を提案・主導。インド向け投資ファンド COO、東京大学産学協創推進本部 Beyond AI 研究推進機構の企画戦略ディレクターを経験。現在はイノベーション創発の研究調査を本業として、広大発ベンチャー・プラチナバイオ CSO、京大発・認知症治療ワクチン開発ベンチャー COO、ESG ベンチャー Sustainacraft 海外戦略、東海東京証券 CSR『中部オープンイノベーションカレッジ』ディレクター、広島大学 OI 事業本部、経済産業省・産業構造審議会・研究開発改革 WG 委員を兼任。東京大学文科 II 類入学・留学、英国 LSE 経済学士。東京大学経済学部 経済学修士。INSEAD Global Executive MBA2014 年卒。



近藤隆則 Takanori Kondo

京都橋大学教授



専門は金融論、行動経済学。著書に『政府の銀行貸出への関与は日本の中小企業を強くしたか』晃洋書房 (2018 年) ほか。日本債券信用銀行 (現あおぞら銀行) で人事部長などを務め、退職後、一橋大学大学院を修了、博士 (商学)。専門分野の基底にある人間学 (広範な教養) に若い頃からこだわり続け、現在、「法と経営学会」において「大人のための教養」分科会を主宰、歴史や宗教や文学を現代の諸問題と結びつけながら多士済々なメンバーと学んでいる。趣味は宝生流の謡と仕舞。